

低騒音・前面排気で快適な視聴環境を実現した 液晶プロジェクター「CP-S210J」を発売

日立製作所 ユビキタスプラットフォームグループ（グループ長&CEO：百瀬次生）は、大風量ファンの特徴を効率よく活かした新冷却システムの採用により、低騒音を実現した液晶プロジェクター「CP-S210J」を8月から発売します。

今回発売する製品は、0.55型の高開口率透過型液晶パネルを使用し、1200ANSIルーメン（ ）を実現しました。

また、現行機種種の「CP-X885J」「CP-X880J」「CP-X430J」を7月1日より価格改訂します。

型式及び価格

型式	概略仕様	メーカー希望小売価格	発売日	国内月産台数
CP-S210J	S-VGAリアル対応、1200ANSIルーメン（ ） 重さ：2.9kg	¥145,000 （税別）	8月初旬	500台 （当初）

価格改訂

型式	概略仕様	メーカー希望小売価格	
		改訂前	改訂後
CP-X885J	XGAリアル対応 3500ANSIルーメン（ ）	¥898,000 （税別）	¥798,000 （税別）
CP-X880J	XGAリアル対応 3000ANSIルーメン（ ）	¥798,000 （税別）	¥698,000 （税別）
CP-X430J	XGAリアル対応 2500ANSIルーメン（ ）	¥698,000 （税別）	¥598,000 価格

液晶プロジェクターの2003年度の市場規模は、全世界で約216万台（前年比129%）、そのうち日本国内は約17万台（前年比125%）と予測されます。液晶プロジェクターはパソコンやAV機器と接続し、企業での会議・研修、各種プレゼンテーションや学校教育、家庭など幅広い用途で活用されており、「高輝度・高精細・高機能化」が求められる一方で低騒音など使用環境についての要望も高くなってきています。

今回発売する「CP-S210J」は、授業やプレゼンテーションで高い静音性を発揮し、ファンノイズを気にせず映像に集中できる液晶プロジェクターです。

<「CP-S210J」の主な特徴>

- 騒音レベル27dB（静音化モード時 - 明るさ20%ダウン - ）の静音化設計。
- 前面排気方式を採用する事で快適な視聴が可能。
- 画質劣化のない光学1.2倍ズームレンズ採用。
- プログレッシブLSIや3次元Y/C分離回路等を搭載し、高画質映像を実現。

社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 データプロジェクタ部会で定めた液晶プロジェクター測定方法・測定条件に関するガイドライン(1999年6月)に基づいています。

他社商標注記

- ・ V G A、X G Aは、米国IBM corporationの登録商標です。
- ・ その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

取扱事業部

株式会社 日立製作所 ユビキタスプラットフォームグループ
デジタルメディア事業部 プロジェクタ本部 商品企画部
〒244-0817 横浜市戸塚区吉田町292番地
TEL 045-866-6305(ダイヤルイン) [担当:長林(ながばやし)]

日立液晶プロジェクターホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/proj>

CP S210Jの主な仕様

型式	CP S210J
投写方式	3原色透過型液晶パネル×3枚、1レンズ、3原色光シャッター方式
液晶パネル	0.55型液晶パネル 3枚使用 横800×縦600(480,000ドット)
投写レンズ	F1.6～F1.8 f=17～20mm
光源ランプ	130W UHB (Ultra High Brightness)ランプ
明るさ*	1200ANSIルーメン
色再現性	フルカラー (1677万色)
解像度	水平800ドット×垂直600ライン
ズーム	手動ズーム(1:1.2)
フォーカス	手動フォーカス
映像上下/左右反転	有り
スピーカー	1.0W(モノラル)
RGB入力	アナログRGB 1系統:15ピンミニD-sub オーディオ 1系統:ステレオミニジャック端子
ビデオ入力	コンポーネント 1系統:RCAピンジャック端子 コンポジットビデオ 1系統:RCAピンジャック端子 Sビデオ 1系統:S端子 オーディオ 1系統:RCAピンジャック(L/R)
コントロール端子	9ピンミニD-sub端子×1
電源	AC100V(50/60Hz)
消費電力	220W
騒音*	31dB(通常時)/27dB(静音化モード時)
外形寸法	幅332mm×高さ92mm×奥行254mm(突起部含まず)
質量	2.9kg
内装付属品	RGBケーブル、AVケーブル、ソフトケース 多機能リモコン、単3乾電池×2、電源コード、

(*) 社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 データプロジェクタ部会で定めた液晶プロジェクター測定方法・測定条件に関するガイドライン(1999年6月)に基づいています。

以 上

【CP-S210Jの主な特徴】

1. 明るい部屋でも映像くっきり

0.55型高開口率透過型液晶パネル及び光源ランプに130W UHB(高圧水銀)ランプを採用し、投写レンズおよびマルチレンズ等光学系の最適化設計により、1200ANSIルーメンを実現しました。

また、高輝度を実現しながら質量2.9kgと軽量化したコンパクト設計です。

2. 映像に集中できる視聴環境を実現、27dB()静音設計

大風量ファンの特長を効率よく活かした新冷却システムの実現により、視聴中に気になるファンノイズを大幅に低減し、27dB()という静音設計を実現しました。狭いスペースなどでも、ファンノイズを気にせず映像に集中できます。

静音化モード時、明るさ約20%減。通常時31dB。

3. プロジェクター周りの人に不快感を与えない前面排気

ランプ冷却用のファンが出す排気風をプロジェクター前面から出します。プロジェクターの横や背後にいる人たちに不快感を与えず、より快適な視聴環境で使用することが出来ます。

4. 「プログレッシブLSI」採用によりビデオ画質の再現性を向上

プログレッシブLSIを搭載し、1/60秒毎に全ての走査線を送る順次走査(プログレッシブ)に変換することにより、高解像度でちらつきのないビデオ映像を実現しました。

また、3フィールド分の情報を使用し動画に適応したプログレッシブ変換を行うことにより、動きが滑らかな映像が表示可能です。

5. 映画本来のスムーズな映像を実現する「フィルムモード」

映画は24コマの静止画により構成されており、映画ソースを60フィールド(30フレーム×2)で構成されているNTSCテレビ信号として再生するためには24コマを60フィールドに変換する必要があります。この変換方式として、フィルムの1コマ目を2フィールド、2コマ目を3フィールド、3コマ目を2フィールド、.....以降24コマ目まで2-3-2-3を繰り返すことにより60フィールドを作り出す「2-3プルダウン方式」が用いられています。「フィルムモード」ではこの「2-3プルダウン方式」を自動検出し、60フィールド全てを静止画として処理することで、色ずれのない原画に忠実な映像を再現します。

6. 映像の持つ輝きや深みを忠実に再現する「3次元Y/C分離回路」

輝度信号と色信号を分離することで、クロスカラーやドット妨害などといった映像ノイズを低減します。これにより、映像本来の美しさをリアルに再現します。

7. 「オートアジャスト機能」

従来、信号源となるパソコンによっては、液晶プロジェクターで投写する際、画面位置・サイズ等が微妙にずれて画面が欠け、一部表示できないなどの現象が生じる場合があります。最適画面に調整するためには、ユーザーがマニュアル操作で位置・サイズ・位相等の微調整を行う必要がありました。本機はこれらの画像調整をリモコンの「AUTO」ボタンを押すだけで自動的に行うことができます。

8. 短焦点投写レンズ

短焦点レンズの採用により、1.8mの投写距離でスクリーンサイズ60型を表示することが可能です。また、1.2倍ズームレンズ採用により設置範囲が広がります。教室・小会議室などの投写距離が確保できない場所でも容易に大画面プレゼンテーションが行えます。また焦点距離が短いため、机上の余分なスペースも縮小され、会議室のスペースも有効に使えます。

9. 「キーストン（台形歪み）補正機能」

スクリーンと本体設置位置との高低差によって起こりがちな台形歪みを簡単に補正できます。歪みのない画像を再現し、ギザギザになりがちな縁もくっきりと表現します。

10. HDTV等に対応した豊富な入力端子を装備

本機は、パソコン用入力端子1系統、ビデオ入力端子はコンポジット（RCA端子×1）、S端子、コンポーネント端子（RCA端子×3）の3系統装備し、HDTV（1080i/1035i/720p）、SDTV（480p/480i）をはじめ、NTSC、PAL、SECAMの全世界のビデオ信号に対応しています。

11. 「部分拡大機能」、「フリーズ機能」

画面の一部分を縦・横 等倍から4倍（面積比16倍）まで自由に拡大できる「部分拡大機能」を搭載しました。文字サイズの小さい表計算ソフトによるプレゼンテーションなどで、特に説明したい部分を簡単に拡大表示でき、見やすくインパクトのある説明が可能です。

また、プレゼンテーション時にパソコン・ファイルの入れ替え等を行う際に表示画面を記憶して止める「フリーズ機能」により、準備した次画面にスムーズに切り替えることができます。

以上

このニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。
発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。
